

おもちゃ美術館とは

1 おもちゃ美術館について

おもちゃ美術館は、北は岩手県花巻市から南は沖縄県国頭村まで全国 14 か所に展開する多世代交流型の体験型ミュージアムで、木のおもちゃを中心に「遊び」「学び」「創造」を通じて人と人をつなぐ施設として整備されています。

東北では岩手県花巻市の一か所のみで、対象年齢は 0 歳から 100 歳まで、気仙沼市内からも毎月花巻へ通うようなヘビーユーザーもいます。

この施設は、NPO 法人 芸術と遊び創造協会が 3 か所を直営で運営しており、そのほか公設民営、民設民営など整備運営形態は様々で、比較的小規模な市町でも運営自体は基本的に黒字になっています。

(1) 特徴

- ・木のおもちゃを中心とした展示・体験
- ・地域材を活用した「木育」空間
- ・おもちゃ学芸員による案内、ワークショップや手作り体験、赤ちゃん専用スペースや高齢者との交流も可能

(2) 歴史

- ・1984 年：東京都中野区にて「おもちゃ美術館」として開館
- ・2008 年：旧四谷第四小学校の校舎を活用し「東京おもちゃ美術館」として再開館
- ・2025 年現在：全国に 14 館が展開されており、地域ごとの特色を活かした施設が増加中

(3) 全国展開

おもちゃ美術館は、地域の自然・文化・産業を活かした形で全国に広がっています。

- ・東京おもちゃ美術館（新宿区四谷）
- ・花巻おもちゃ美術館（岩手県）
- ・檜原森のおもちゃ美術館（東京都檜原村）
- ・焼津おもちゃ美術館（静岡県焼津市）
- ・木曽おもちゃ美術館（長野県木曽町）
- ・奈良おもちゃ美術館（奈良県三剛町）
- ・讃岐おもちゃ美術館（香川県高松市）
- ・徳島木のおもちゃ美術館（徳島県板野町）
- ・那賀町山のおもちゃ美術館（徳島県那賀町）
- ・佐川おもちゃ美術館（高知県佐川町）
- ・長門おもちゃ美術館（山口県長門市）
- ・福岡おもちゃ美術館（福岡県福岡市）
- ・やんばる森のおもちゃ美術館（沖縄県国頭村）
- ・埼玉おもちゃ美術館（分館型：埼玉県吉川市、三郷市）

2 おもちゃ美術館整備の要件

おもちゃ美術館として、オープンするための要件は以下のとおりです。（概要）

(1) ウッドスタート宣言の実施

地域の自治体が東京おもちゃ美術館と連携し、木育推進の意思を表明する宣言する。

【宣言の必須項目】

- ・誕生祝い品事業：地域産材を使った木のおもちゃを赤ちゃんに贈る。
- ・木育円卓会議：林業関係者・子育て支援者・自治体職員が集まり、地域の木育について議論。

(2) 誕生祝い品事業の導入

地元の木工職人が地域材で制作した木のおもちゃを、赤ちゃんの誕生祝いとして贈呈。
地域の「宝」や文化をモチーフにしたオリジナル玩具。

東京おもちゃ美術館が監修し、デザイン・試作・検品・贈呈式までを支援。

(3) 木育関連事業の展開（任意項目）

- ・木育キャラバン：移動型おもちゃ美術館で地域に木育体験を提供。
- ・木育インストラクター養成：地域で木育を担う人材育成。
- ・子育てサロンの木育化：「赤ちゃん木育ひろば」など木を活用した育児環境整備。
- ・姉妹おもちゃ美術館の設立：地域材を活用した独自の美術館。

(4) 施設整備の基本要件

- ・地域材（国産木材）を活用した内装・遊具・展示品。
- ・多世代交流が可能な空間設計（赤ちゃんから高齢者まで）。
- ・市民参加型運営（おもちゃ学芸員制度など）。
- ・地域課題（林業再生・子育て支援・観光振興など）への対応。

東京おもちゃ美術館



花巻おもちゃ美術館

